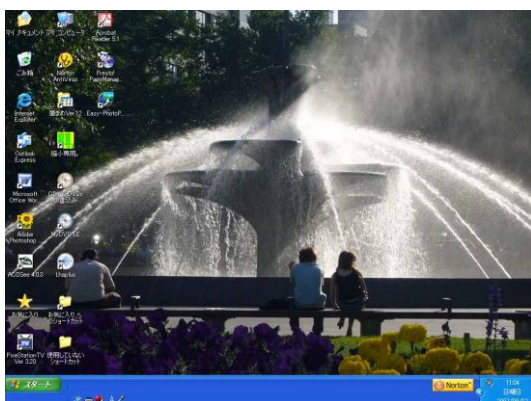
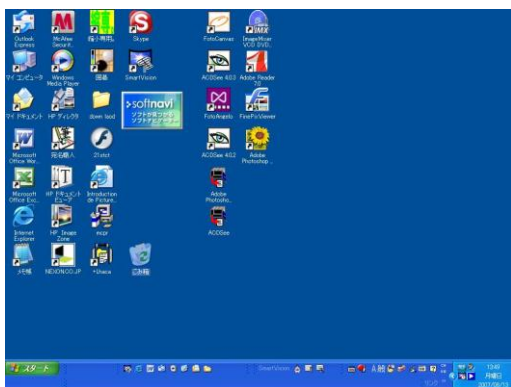


MCC 雑感 2007-8

於丸紅本社ビル 一階個室コンチェルト
出席： 15名

1) 今月のテーマ・デスクトップ



今月のテーマはデスクトップと申上げたら、沢山の人から壁紙が送られて来た。またそれを開示するについて、数多くのアイコンがアバタのように並んでいることを恥かしいというコメントも多かった。

上記はその中の例示に過ぎないが、皆さん画像の送付については既に熟知されており、**Print Screen** キーでクリップボードに貼り付け、コピペするという手順はほぼ完全にマスターされているようである。

が、しかし実はこれは既にこれまでに繰り返しやったことであって、今回のテーマではないのだが・・・

今回考えて頂きたかったことは、最初にメールで申上げたように、下記のような項目について各位と論議してみたかったということだった。

1) 壁紙

画像の扱い方

ショートカットアイコン

ゴミ箱は消えるか？

2) スクリーンセーバー

モニター画面の省エネ

3) タスクバー

スタートアップメニュー

常駐ソフト

本来のタスクバー (マルチタスクの意味)

4) IMEのツールバー

2) ゴミ箱を考える

ウィンドウズでは Recycle Bin マッキントッシュでは Trash Can と呼ばれる「ゴミ箱」の便利さについては、誰もが体験的に知っている。



「ゴミ箱」はデスクトップ上に置かれている特殊なアイコンであって、ファイルの削除（当該ウィンドウの右肩の赤い×）でも、アイコンのドラッグ&ドロップでもファイル或いはフォルダーを削除することが出来る。また誤動作による削除を救済するために、一旦ゴミ箱に入ってしまったファイルやフォルダーを復元（元に戻す）ことも可能である。

更には XP 時代となってハードディスク容量が巨大化した為に殆んど考慮の余地は無くなった「リソースの不足」に対処するために、その時点で改めて再度の削除（ゴミ箱を空にする）ことによって、始めてパソコンから完全に消すことが出来る。

云わば「ゴミ箱」という名前を付けられたフォルダーというファンクションなのである。

ゴミ箱の起源は古く、Macintosh の前身である Lisa の Office System 1 にはすでにその姿を見る事ができる。この時はまだ、一度に 1 セットのファイルしか収めることができず、ファイルを追加すると古い内容が自動的に削除されるようになっていた。ゴミ箱が一般に広まったのは Macintosh 以降である。1991 年にリリースされた System7 では、「ゴミ箱を空に」オプションをクリックするまではファイルが削除されない仕様に改良された。Apple はゴミ箱を「Macintosh デスクトップの象徴」とみなしており、Windows95 が「ごみ箱」を採用した時は訴訟問題にまで発展した事がある。

「GUI を著作権で保護するべきか」という問題は別にしても、Windows のごみ箱がとってつけた機能である事は事実である。元々 Windows はファイルブラウザ系の選択・操作メニュー型の文化であり、アイコンの実体性を意識したゴミ箱がユーザーインターフェース的に調和しているとは言えない。これは他のデスクトップ環境でも同様の傾向が強く、Macintosh の模倣に終始しているケースがほとんどである。「ファイルをユーザーにどう認識させるか」を含めた包括的な見解が必要であろう。

さて、今回は「ゴミ箱」のアイコンをデスクトップから消してしまいたいというのが話題となった。

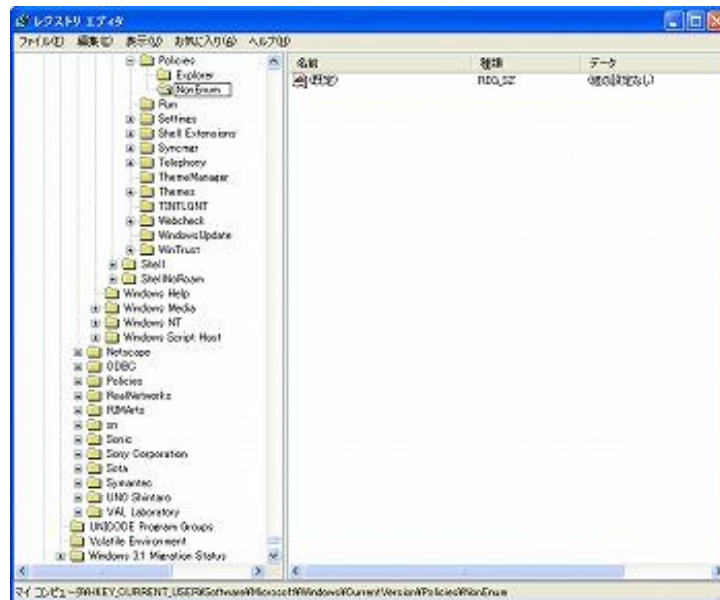
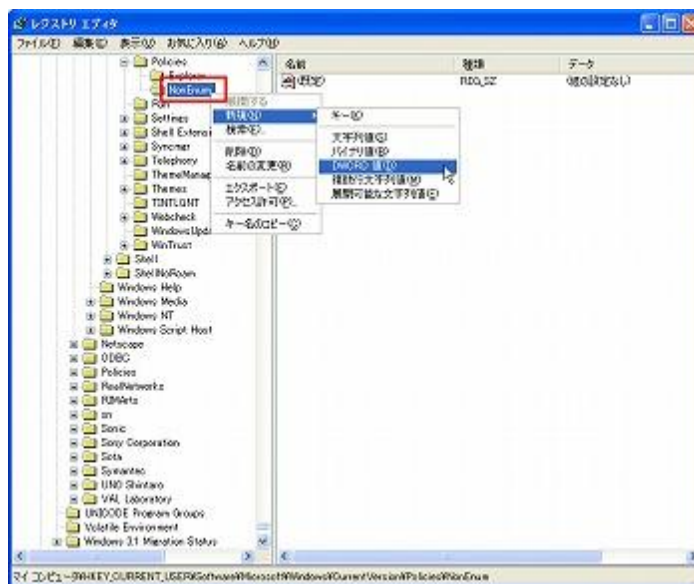
記録のために解答を下記しておく。

スタートメニューから「ファイル名を指定して実行」を選び、「regedit」と入力して「OK」ボタンをクリックする。レジストリエディタが起動したら、次のようにキーをたどる。

HKEY_CURRENT_USER→Software→Microsoft→Windows→CurrentVersion→Policies

「Policies」を右クリックして「新規」－「キー」を選び「NonEnum」というキーを作成する。「NonEnum」を右クリックして「新規」－「DWORD 値」を選び、次のような DWORD 値を作る（両側の括弧を忘れずに入力すること）。

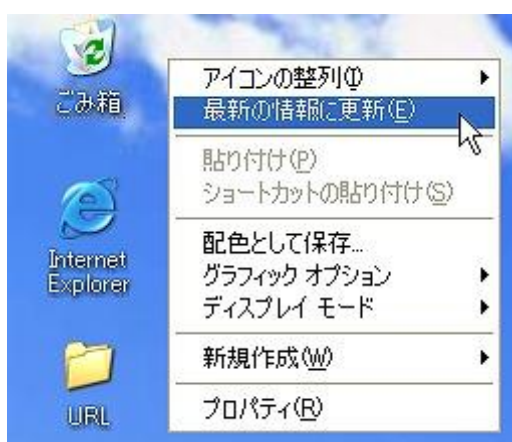
{645FF040-5081-101B-9F08-00AA002F954E}



次に「{645FF040-5081-101B-9F08-00AA002F954E}」をダブルクリックして、「キーの値」に半角で「1」と入力し、「OK」ボタンをクリックする。デスクトップを右クリックして「最新の情報に更新」を選ぶと、デスクトップ上の「ごみ箱」が消えているはずだ。



▲ 「キーの値」に半角で「1」を入力して「OK」ボタンをクリックする



▲ デスクトップを右クリックして「最新の情報に更新」を選ぶ

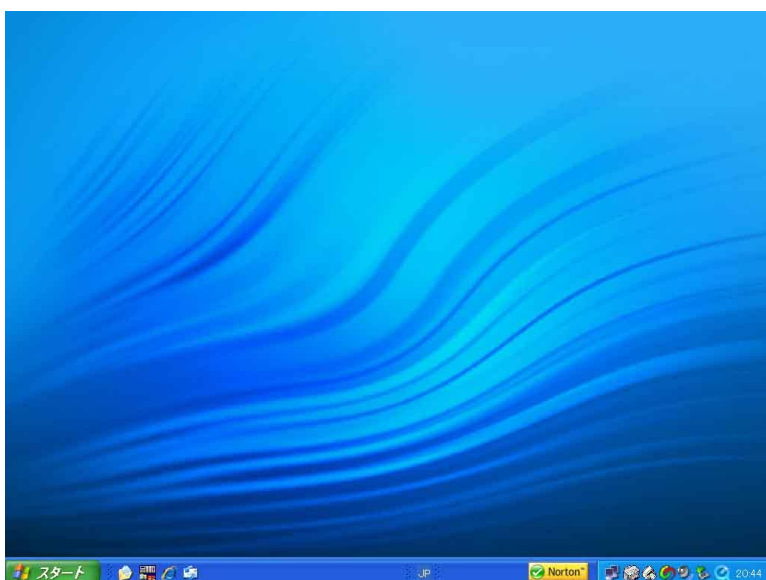


▲ デスクトップ上の「ごみ箱」が消える

元に戻すには、「NonEnum」というキーを削除するか、「{645FF040-5081-101B-9F08-00AA002F954E}」という DWORD 値の値を「0」にすればよい。

このような論議をしている間にふとしたきっかけで、デスクトップからゴミ箱のアイコンを見えなくすればよいのだから、レジストリーに触る必要などないということに気が付いた。

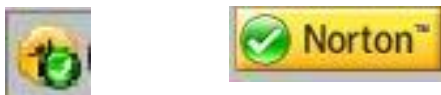
- 1) デスクトップの画面の適宜な場所を右クリック
- 2) アイコンの整列をクリック
- 3) デスクトップアイコンの表示のチェックを外す



3) タスクバー

デスクトップに於いて重要な機能を果しているタスクバーについては日頃あまり関心を持たれていないようだが、これを触ってみると面白いことが多い。

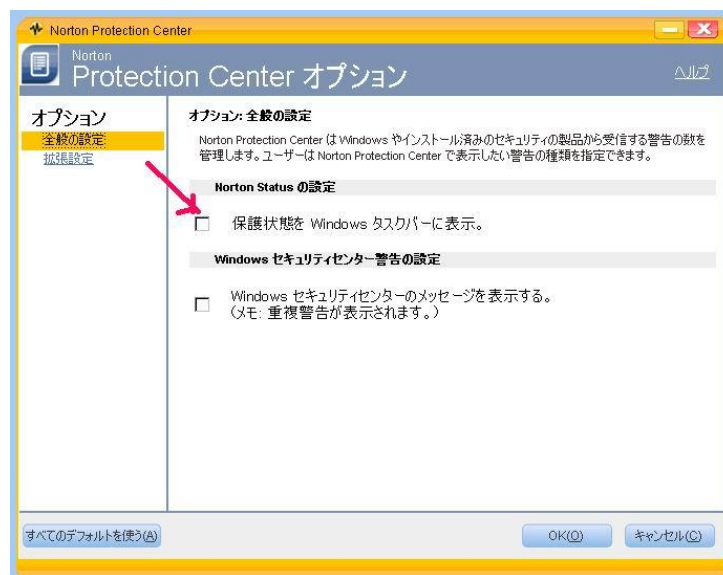
当日話題になったのはノートンのアイコンが人によって異なるのは何故か？という吉田さんの質問。後日矢野さんの解答を記録に留めたい。



右下隅のノートンのアイコンを右クリックすると出てくる下記メニューで「Norton Status をタスクバーに表示」を切り替えると、円形または楕円形に変更します。



あるいは又、上記メニューで「通知オプションの変更」を選び矢印の箇所のチェックの有無でアイコン形状が変わります。



ノートンは常駐ソフトとして何時も現場待機しているわけで、タスクバーにあっても可笑しくないのだが、その場合横長の大きなアイコンになっている。これをタスクバーの右下隅、所謂「通知領域」（これをシステムトレイとも呼ぶことを今回改めて学んだ）に入れてやると小さくなるという仕掛け・・・

4) 今月のトラブル

私は今月 2 件のトラブルを背負ったので記録して置きたい。

i) 光回線の頻発するフリーズ



私の通信回線機器・左から

* NTT 貸与のルーター

Web Caster V110

* NTT 支給の ISDN

アダプター

* NTT 支給の VDSL

アダプター VH100

* 自分で設置したルーター・エア
ステーション Buffalo

この無線 LAN でカミサンのパ

ソコン及びノートの V I S T A
と繋がっている

これが頻繁にフリーズを繰り返しており、その都度 NTT の技術者に教えられた通りに、解決方法は何時もの古典的手法・・・つまり一旦ケーブルを切り離し、10分してからもう一度繋ぎ直す。

切断及び繋ぎ直しの順番は下記の通り、

- ① VDSL VH102E
- ② ルーター WebcasterV110
- ③ パソコン主電源

オマジナイのようなこの手順でのコードの一旦外し、10分後の繋ぎ直しで毎回のトラブルは解決して来たのであるが、何分にも頻度が多すぎる！！

5月14日 11 ; 30

6月8日 16 ; 30

6月23日 20 ; 20

7月8日 18 ; 15

7月23日 20 ; 30

8月7日 22 ; 40

半月に一回というのはあまりにも酷いではないかということで、NTTの故障担当にクレームを入れた。

結果としてハードウェアの交換が行なわれて解決したのだが、丸一年間ケーブルの切断・繋ぎなおしを繰り返しやらされていたことを思うと憤懣に耐えない。

ii) DVDレコーダーのトラブル

今や私のITライフの中核を占めるDVDレコーダーは、機能、性能ともに抜群で、オペラを中心とする音楽番組、孫向けの映画、囲碁テレビ対局などの録画は増えるばかりである。

ところが或る日突然機能停止に陥って、全く反応しなくなってしまった。

このような場合、パソコンとは違ってメーカーは電話でテクニカルサポートなどは一切行なわず、直ちに技術者を派遣することになっているらしい。

その結果はハードディスクの初期化という対応で、これなら人を派遣せずとも「初期化してみてください」と電話で云えばよいと思うのだが、そのようなことは絶対にしないのだそうだ。

これはユーザーには知らしむべからずということなのか、或いはユーザーにはヘタな対応は任せられないということなのか、しかしながら人を派遣するというのはそのコストはユーザー負担になるのであるから、歓迎ばかりはしてられないというのが実感である。

5) パソコン以外の話題

2007年8月というのは話題性豊かな時だった。小林さんが紹介された「陸に上がった軍艦」は多くのメンバーを惹きつけたが、戦後62年を経て閣僚の靖国参拝はゼロという現象もまた考えさせられるものだった。

ハリポッター最終章の上梓と第5巻の映画化、「愛の流刑地」のDVDレンタル開始、映画「魔笛」の上映等々、老人には忙しい月であったと思う。



更に特筆すべきことは、バリー・ボンズが遂にホームラン756本という新記録を打ち立てたこと！！



—以上—